

## 建物の中は大丈夫か？

### 予想される宮城県沖地震に対して建築設備の耐震を考える

2003 年 5 月 26 日と 7 月 26 日の二度にわたり、震度 6 を含む数回の地震が宮城県北部を襲い、各地に大きな被害のつめあとを残しました。しかも、これらの地震は予想されていた大型の地震とは異なる地震とのものであるため、東北地方における地震に対する危機感は強まるばかりであります。

空気調和・衛生工学会東北支部では、今回の地震に対しまして、日本建築学会東北支部の災害調査委員会の調査に協力する形で、建築設備に関する被害調査を行いました。近年の地震被害では、建築構造に対して建物内部の設備の脆弱性がよく指摘されることはありますが、今回の地震被害もその例に漏れなかったようであります。そこで、本シンポジウムでは、建築学会の調査で陣頭指揮を取られた田中礼治先生、同調査で設備 WG の主査をされた岡田誠之先生、空気調和・衛生工学会で長らく設備耐震指針作成に関わってこられた木内俊明先生のお三方からお話を伺い、近い将来に予想される大きな地震に備える意味を込めて建築設備の耐震対策を考えてみたいと思います。会員の皆様、市民の皆様には、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

#### 記

主催 空気調和・衛生工学会東北支部、日本建築学会東北支部環境工学部会、建築設備技術者協会東北支部

日時 平成 16 年 2 月 9 日（月）13 時 30 分から 17 時 00 分

会場 フォレスト仙台フォレストホール

仙台市青葉区柏木 1-2-45 （財）宮城教育会館 電話 022-271-9340（代）

（地下鉄北四番町駅または北仙台駅下車、JR 仙山線北仙台駅下車いずれも徒歩 10 分、柏木生協隣り）

#### プログラム

1. 近い将来予想される宮城県沖地震に備える、2003 年の地震を踏まえて  
田中礼治（日本建築学会東北支部災害調査委員会委員長、東北工業大学教授）
2. 2003 年の地震による建築設備被害の実態  
岡田誠之（空気調和・衛生工学会東北支部調査研究委員会委員、東北文化学園大学教授）
3. 地震に対する設備耐震対策の重要性  
木内俊明（空気調和・衛生工学会安全災害委員会委員、国土館大学教授）
4. 討論

申し込み はがき、FAX、E-メールのいずれかで、「地震シンポジウム参加申し込み」と明記し、氏名、所属、住所、連絡先の電話番号か FAX 番号などを併記の上、下記まで申し込んでください。

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 3-8 春日町ファインビル 4 階

空気調和・衛生工学会東北支部事務局代行機関

住まいと環境・東北フォーラム

電話：022-221-9042、FAX：022-221-9243

E-mail：[htoenv@rio.odn.ne.jp](mailto:htoenv@rio.odn.ne.jp)

定員 150 名（先着順）

参加費 無料